

2023年度トライきつず泉体育館

【保護者向け】放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	1	0	引き続き環境調整に取り組んでいきたいと考えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	5	0	職員の健康状態を把握し、パフォーマンスが発揮できるよう検討します。障害の特性理解や支援の質向上にむけて取り組んでいきたいと考えます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	7	1	入り口に段差がありますが、スロープの設置が可能です。個別に配慮が必要な児童に対応を検討できるよう、適宜職員研修を行ってまいります。
適切な支援 の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	28	3	1	今年度は、担当スタッフと児発管2名体制で面談と相談を行いました。より保護者様やご本人のニーズや課題を保護者様と共有できるように、面談を実施したいと考えます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26	1	0	5領域を意識し、様々なイベントを企画したいと考えます。お子さんが関心を持ち参加できるよう検討していきたく考えます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	27	8	14	交流について、ニーズの有無は様々ですが、放課後等デイサービスとして、地域での自立した生活につながるよう前向きに検討していきたく考えます。
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	1	契約時のみでなく、年度切替時など適宜説明の機会を設けたいと考えます。丁寧な説明を心がけたいと考えます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	2	0	来年度は、子育てサポートを活用し、支援見学や情報共有に力を入れたいと考えます。対面のみでなく、電話やオンライン相談機会を増やします。専門家による相談の機会も設けます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1	2	来年度は、子育てサポートを活用し、支援見学や情報共有に力を入れたいと考えます。対面のみでなく、電話やオンライン相談機会を増やします。専門家による相談の機会も設けます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28	3	2	保護者会は今年度、できるだけ回数を多く実施しました。オンラインを併用し、いろいろな方が参加しやすいよう工夫しております。来年度は年間予定の中に保護者会を設定します。保護者交流を目的とした保護者カフェを上台北で開催しました。来年度も実施いたします。保護者参加の交流会も実施しました。来年度は保護者参加が可能な行事も多く取り入れたいと考えます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	6	0	相談窓口を周知します。相談があった場合、迅速な対応を行います。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	1	0	ご来所時のお子さんとの対話を大切に、ニーズを共有できるようにしていきたいと考えます。言語化が難しいお子さんの気持ちを理解できるよう職員のスキル向上に努めます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	4	0	毎月のプログラムを、HUGで確認できるようにいたします。SNSでの活動報告も頻度を上げていきたいと考えます。自己評価結果はHPに掲載しております。
非常時等 の対応	14	個人情報に十分注意しているか	29	3	0	引き続き、個人情報の取り扱いに注意します。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	3	0	事業所入口と相談室にマニュアルを設置しております。WEBに掲載し、閲覧できるようにします。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	4	0	月に一回地震・火災訓練をしています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	13	2	スタッフの対応やプログラムなど、楽しい場所、安心できる場所になるよう環境づくりを行います。
	18	事業所の支援に満足しているか	27	4	1	・ご利用者様に応じて、課題の内容や量を調整し、スモールステップで成長できるように支援をしていきたいと考えます。 ・多くの方がご利用いただけるよう、利用回数など検討しつつ、利用時間の延長ができるようにプログラムを調整したいと考えます。 ・外部機関で取られたWISCなどの心理検査や、他のアセスメントをもとに支援内容を検討し、スタッフで共有してまいります。よりいっそう特性に合わせた支援ができるようスタッフのスキルアップを図っていきたく考えます。